

アンケート本紙

京都大学文学研究科博士後期課程を終えられた方へのアンケート

京都大学大学院文学研究科の教育・研究環境をより良くしていくためのアンケートにご協力をお願いいたします。回答にあたっては、該当する項目に○印を付してください。

1. あなたが修士課程を終えた大学についてお聞きします。
 - a. 京都大学大学院文学研究科
 - b. 京都大学の他研究科
 - c. 京都大学以外の日本国内の大学
 - d. 日本以外の大学
 - e. その他 ()

2. あなたが博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？
 - a. 学部入学後
 - b. 4回生になってから
 - c. 修士課程進学後
 - d. 修士論文作成中
 - e. 修士課程修了後、社会に出てから
 - f. その他 ()

3. 博士後期課程で学ぶ動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？（複数回答可）
 - a. 修士課程で選んだテーマの研究をより深めたいと思った。
 - b. 博士後期課程での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。
 - c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。
 - d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。
 - e. その他 ()

4. 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としていますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？
 - a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。
 - b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。
 - c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。
 - d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。
 - e. その他 ()

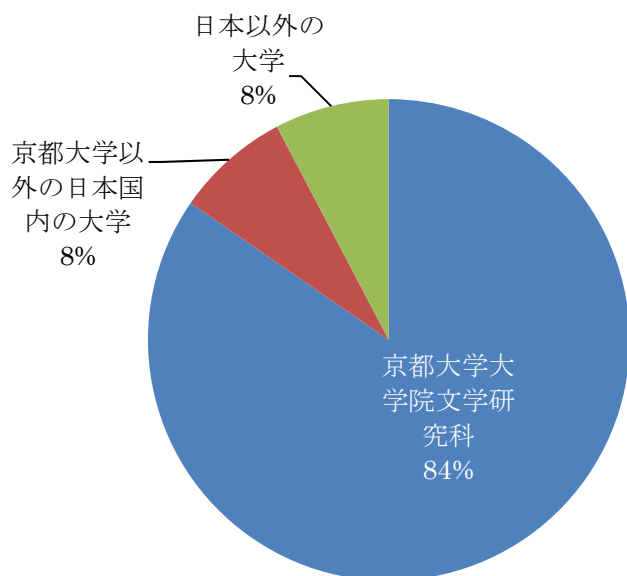
5. あなたは文学研究科で学んだことについて満足していますか？
- a. 十分に満足している。
 - b. それなりに満足している。
 - c. どちらとも言えない。
 - d. 後悔している。
 - e. その他 ()
6. 4月以降の進路についてお聞きします。
- a. 大学・研究所等の研究（教育）機関に就職
 - b. 一般企業に就職
 - c. 官庁、地方自治体等に就職
 - d. 教員、司書等の専門職に就職
 - e. 日本学術振興会特別研究員
 - f. 研修員
 - g. その他 ()
7. 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？（複数回答可）
- a. 専門的知識
 - b. 専門分野の研究能力
 - c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力
 - d. 一般的な教養
 - e. 国際感覚
 - f. 外国語の能力
 - g. リーダーシップ
 - h. 社会的常識
 - i. その他
8. お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。
東洋文献文化学・西洋文献文化学・思想文化学・歴史文化学・行動文化学・現代文化学
9. その他意見・要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

結果と分析

対象者 41名 回答者 13名 回収率 32%

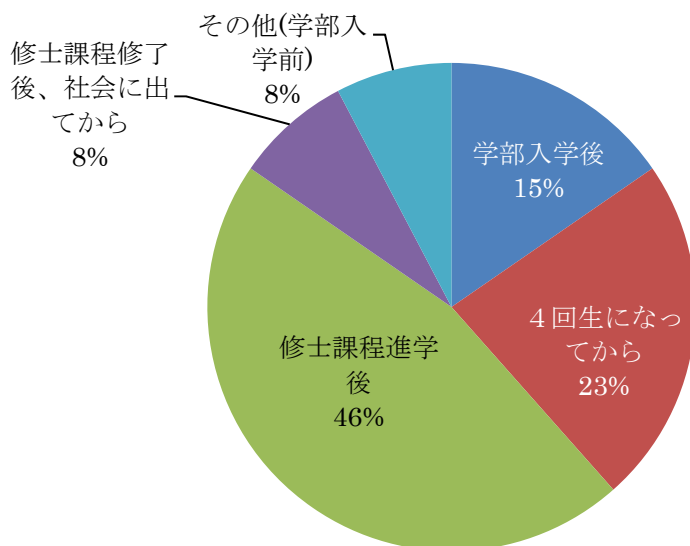
回答者数が非常に少ないため、博士後期課程修了者全体の傾向をデータからどこまでの確に推測できるか疑問が残るが、ここではその問題を一応考慮せずに分析した。

1 あなたが修士課程を終えた大学は？



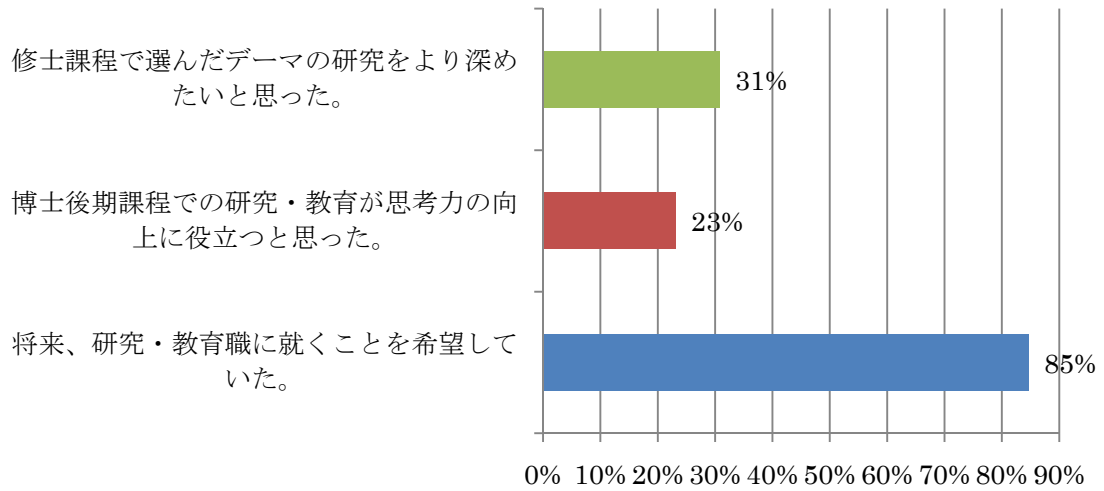
例年通り大半の学生が修士課程でも同じ研究科に所属しており、博士後期課程の段階で編入してくる学生の比率はかなり低い。修士課程の学生に他大学・他学部出身者が相当な割合を占めているのとは対照的である。

2 博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？



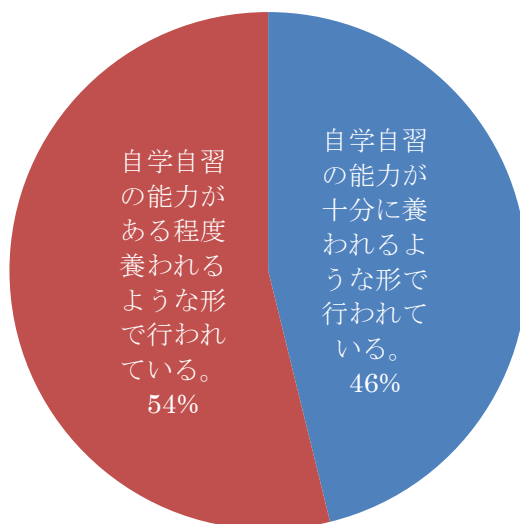
約半数が修士課程在学中ないし修了後に博士後期課程進学を決めている。修士課程進学時点ではまだ研究者の道に進むことをはっきり決めていない学生が相当な割合にのぼることの背景には、大学院重点化に伴って修士課程進学がかつてと比べて容易になり、修士課程修了後企業等に就職するという選択肢がごく普通になったことがあると思われる。

3 博士後期課程で学ぶ動機の中で重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？(複数回答可)



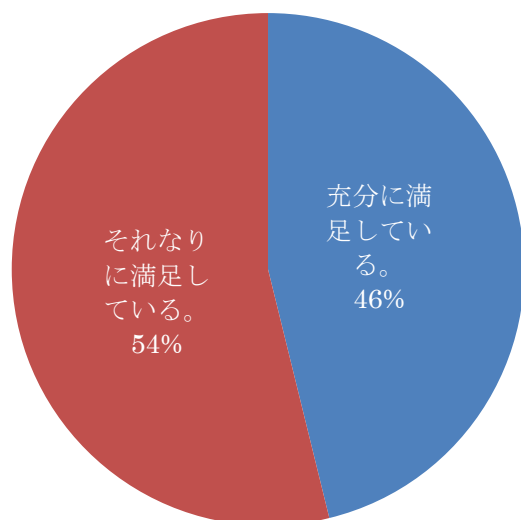
回答者の85%が将来研究・教育職に就くために必要なステップとして博士後期課程に進学したと回答しており、企業等への就職を明確に決めて進学した回答者は皆無だった。「修士課程で選んだテーマの研究をより深め」ることや「思考力の向上」も研究・教育職への就職にあたって有益であるから、全体として研究・教育職に就くことを意図して進学したケースがほとんどと考えられる。

4 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としています。これに関連して、文学研究科での授業・研究指導について、どのように考えますか？



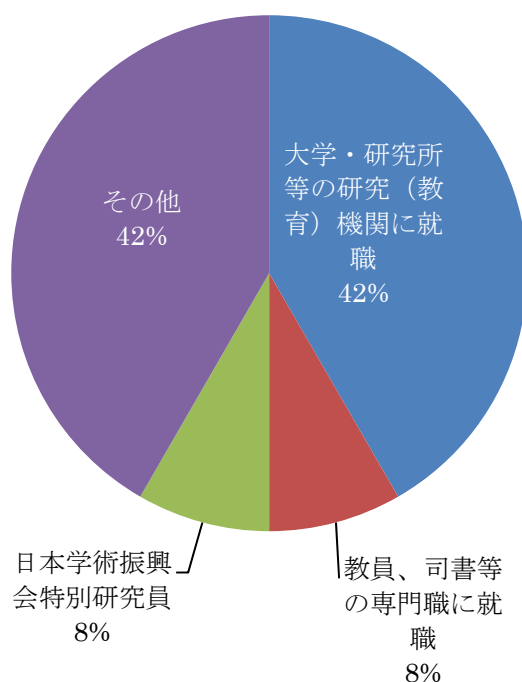
「十分に」「ある程度」がほぼ半数ずつであり、前回32%だった「どちらとも言えない」との回答が今回はゼロであった。自学自習の能力の養成に関して文学研究科の教育が肯定的な評価を受けていることがわかる。

5 文学研究科で学んだことについて満足していますか？



問い4の結果と同様に、「十分に」「それなりに」満足しているとの回答がほぼ半数ずつで、「どちらとも言えない」以下の回答はゼロであった。前回は「どちらとも言えない」との回答が18%あったことと比べると、今回の博士後期課程修了者の満足度はおおむねかなり高いといえる。

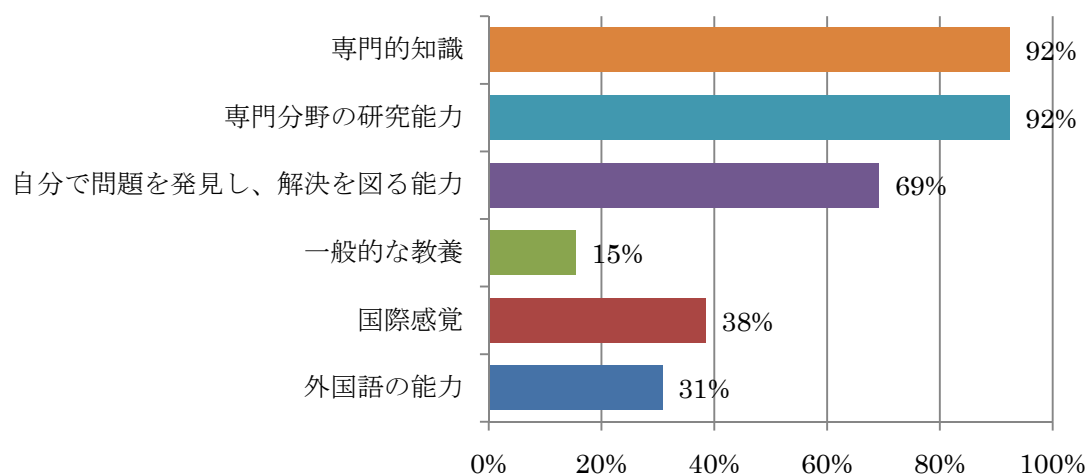
6 博士課程修了後の進路については？



その他の内訳 3(大学非常勤講師)、1(大学非常勤講師、聴講生を兼ねる)、1(海外留学)

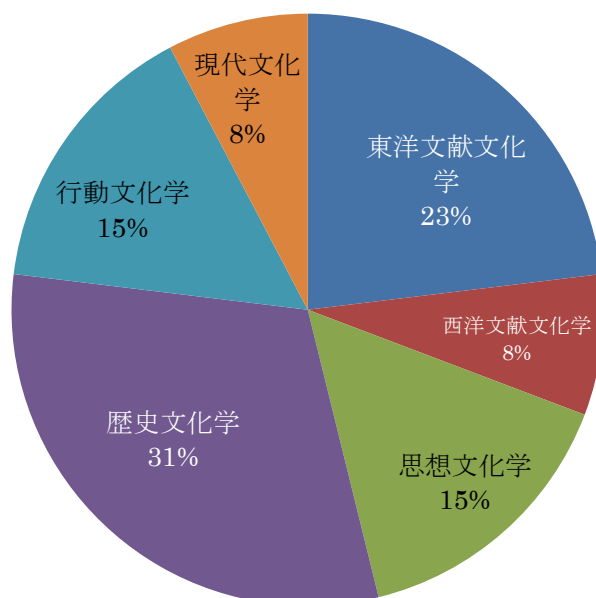
今回は研究・教育機関に就職できた回答者が4割弱、研究・教育職に就くまでの暫定的な身分にとどまっている者がほぼ同数であり、企業・官公庁への就職はゼロであった。日本学術振興会特別研究員になった者が45%で研究・教育職への就職者がゼロだった前回の調査と比較すると、就職状況は相変わらず厳しいとはいえ研究・教育職に就けた回答者がいたことは、問い5での満足度の高さに関連しているかもしれない。

7 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？(複数回答可)



ほとんどの回答者が専門知識と研究能力を挙げる一方、一般的教養・国際感覚・語学力を挙げた者の比率は低い。さらにリーダーシップや社会的常識については回答はゼロである。これは文学研究科が研究者養成の役割を十分に果たしているとの評価を表すものであろう。教養や語学力等についてはおそらく学部段階で習得されるべきものと考えられており、学部と大学院の役割分担が認識されているのではないかと推測される。

8 あなたが属していた専攻は？



データ

1 あなたが修士課程を終えた大学についてお聞きます。

選択肢	人数	比率(%)
a. 京都大学大学院文学研究科	11	85
b. 京都大学の他研究科	0	0
c. 京都大学以外の日本国内の大学	1	8
d. 日本以外の大学	1	8
e. その他	0	0

2 あなたが博士後期課程で学ぶことを決めたのはいつ頃でしたか？

選択肢	人数	比率(%)
a. 学部入学後	2	15
b. 4回生になってから	3	23
c. 修士課程進学後	6	46
d. 修士論文作成中	0	0
e. 修士課程修了後、社会に出てから	1	8
f. その他(* 学部入学前)	1*	8

3 博士後期課程で学ぶ動機のなかで重要な位置を占めたのはどのような要因でしたか？(複数回答可)

選択肢	人数	比率(%)
a. 修士課程で選んだテーマの研究をより深めたいと思った。	4	31
b. 博士後期課程での研究・教育が思考力の向上に役立つと思った。	3	23
c. 将来、研究・教育職に就くことを希望していた。	11	85
d. 企業等に就職する前に、もう少し学問を続けたいと思った。	0	0
e. その他	0	0

4 京都大学は「自由の学風」を伝統とし、「自学自習」を基本的な理念としていますこれに関連して、あなたは文学研究科での授業、研究指導について、どのように考えますか？

選択肢	人数	比率(%)
a. 自学自習の能力が十分に養われるような形で行われている。	6	46
b. 自学自習の能力がある程度養われるような形で行われている。	7	54
c. 自学自習の能力が養われるような形で行われているかどうか、どちらとも言えない。	0	0

d. 自学自習の能力が養われるような形で行われていない。	0	0
e. その他	0	0

5 あなたは文学研究科で学んだことについて満足していますか？

選択肢	人数	比率(%)
a. 十分に満足している。	6	46
b. それなりに満足している。	7	54
c. どちらとも言えない。	0	0
d. 後悔している。	0	0
e. その他	0	0

6 4月以降の進路についてお聞きます

選択肢	人数	比率(%)
a. 大学・研究所等の研究(教育)機関に就職	5	38
b. 一般企業に就職	0	0
c. 官庁、地方自治体等に就職	0	0
d. 教員、司書等の専門職に就職	1	8
e. 日本学術振興会特別研究員	1	8
f. 研修員	0	0
g. その他	5*	38

* 3(大学非常勤講師)、1(大学非常勤講師、聴講生を兼ねる)、1(海外留学)

7 文学研究科で学んだこと、身につけたことで、今後役立つと考えられるものがありますか？(複数回答可)

選択肢	人数	比率(%)
a. 専門的知識	12	92
b. 専門分野の研究能力	12	92
c. 自分で問題を発見し、解決を図る能力	9	69
d. 一般的な教養	2	15
e. 国際感覚	5	38
f. 外国語の能力	4	31
g. リーダーシップ	0	0
h. 社会的常識	0	0
i. その他	0	0

8 お差し支えなければ、あなたが属していた専攻をお教えてください。

選択肢	人数	比率(%)
東洋文献文化学	3	23
西洋文献文化学	1	8
思想文化学	2	15
歴史文化学	4	31
行動文化学	2	15
現代文化学	1	8